

初期研修終了後の進路にお悩みの方へ

松江生協病院

トランジショナル・イヤー

研修のご案内



トランジショナル・イヤー (TY)研修とは

3年目に必ずしも専門とする領域を決めず、さらに深めたい領域や総合的な力量を身につけることを目的とした病院内独自の研修のこと。

初期研修の2年間で修了したら、3年目からは多くの場合で、新専門医制度に沿った研修が選択されていると思います。しかし、初期研修を開始して1年半程で研修プログラムも含め決めていかなければならず、自身の将来像を決めきれない研修医も少なくありません。



「まだ将来の専門科を決められず、もう少しいろいろな診療科で研修して決めたい」
「将来の専門分野で役に立つ他の診療科の研修を3年目でやっておきたい」
「救急や総合診療のスキルをしっかりと身に付けてから、専門科の道に進みたい」

など、研修医の皆さんの希望やキャリアプランに寄り添った研修を行うことができます。

トランジショナル・イヤー(TY)研修中の医師の声

TY研修を行うことに決めた経緯

ス ーパーローテーションで様々な診療科での研修をしましたが、進むべき診療科に悩んでいました。悩んだまま専攻医になるのではなく、興味のある分野を学び、できることを増やし、**次のステップに活かせる1年になる**と確信し、TY研修を行うことに決めました。

TY研修をしてみた感想

当 院では救急外来と内科疾患の入院担当をメインで担当しています。また画像診断や血管内治療もご指導いただき、自ら興味のある分野、やりたいことに対応していただき非常に充実した研修を送っています。TY研修を通して**診療科決定に至るという目標も達成**でき嬉しい限りです。

(平元大貴医師)

TY研修を行うことに決めた経緯

私 は初期研修中に精神科の道に進むことを決めました。しかし、専攻医になると、内科的なことは関わる事が無くなってしまったため、その間に今まで培ってきた内科的な知識が失われてしまうように感じました。**内科全般の知識をしっかりと身につけておかないと、今後精神科医として働く中で、足を引っ張ってしまう要因になりかねない**と考えました。また慢性疾患の外来でのフォローなども経験したいと考え、3年目のTY研修を選択しました。

TY研修をしてみた感想

当 初は慢性疾患の管理などに主軸を置いて研修を行うつもりでしたが、コロナの影響もあって内科外来としての数は思っていたよりはこなすことができませんでしたが、代わりに救急外来での対応や病棟での対応など数多くさせて頂きました。**診断から方針、患者家族への説明を自分の力で**(時には指導医の力も借りつつ)行うことが出来て大変勉強になりました。**後期研修に向かううえでの不安要素をかなり払拭し、スキルアップ**でき、TY研修を選択してよかったと思います。(藤本直樹医師)

詳しくはお問合せください

松江生協病院 秘書課 (担当: 白石)

E-mail : m.hakuishi@matsue-seikyo.jp

TEL:0852-23-1111 (代表)